



JICA中南米部主催 「ビジネスネットワークワーキング会合」 中南米各国拠点長Profileシート

2019年9月6日 JICA中南米部



中米



カリブ島嶼

キューバ
事務所

ドミニカ共和国
事務所

ジャマイカ
支所

ハイチ
支所

セントルシア
事務所



南米





ドミニカ共和国事務所 近藤 貴之 所長



任国の概要・開発課題

面積：48,442km²（九州に高知県を合わせた広さ）

人口：1,077万人
（カリブ地域で2番目の人口。約400万人が首都
サントドミンゴ圏に居住）

公用語：スペイン語

特徴：①中南米地域最大の経済成長率（2018年は7.0%）、②伸びる製造業と海外投資、③盛んな観光業（観光客750万人以上）、④温暖な気候（首都の年間平均気温は約26度）

重点分野：①持続的な経済開発（競争力向上、環境）、②格差是正（地域開発）

ポテンシャル：世界有数のビーチリゾート・エコツーリズムなど豊富な観光資源（対する環境保全）、外国人に寛容な国民性・日本への厚い信頼、中小企業振興・輸出重視政策、地政学的カリブ地域の拠点

こんな技術を求めています！

- 廃棄物処理（焼却炉、リサイクル、中間処理施設、海洋プラスチックゴミ）
- 省エネ（エネルギー効率化）
- 防災（耐震技術、ハリケーン対策）
- 漂着海藻対策（除去・活用）
- 都市交通（ITSなど交通渋滞緩和）
- 農業（農薬の適正使用、有機栽培）

所長より皆様へ一言

ドミニカ共和国は中南米地域での経済成長率が最も高く、海外投資も拡大しています。外国企業の誘致にも積極的ですが、経済成長に伴う新たな課題も増大しています。また、日本への信頼は厚い一方で、日本企業の進出は未だ殆ど見られません。是非ともドミニカ共和国（およびカリブ地域）への進出をご検討下さい！



エルサルバドル事務所 山本 美香 所長



任国の概要・開発課題

- 面積：21,040 km²（九州の約半分）
- 人口：664万人（≒千葉県）、※在外310万人
- 公用語：スペイン語
- 一人当たり国民総所得：\$3,820（2018年）
- 主要産業：軽工業（輸出向け繊維縫製産業）、農業（コーヒー、砂糖等）
- 外交樹立：1935年2月15日
※内戦（1980～92）、経済成長停滞、治安問題
- 2018年8月21日；台湾断交・中国国交樹立
- 2019年2月；大統領選でブケレ大統領（野党国民統合のための大連合）が勝利。地域安全掌握計画を展開中。

【開発課題・特徴】

- 重点分野；①経済の活性化と雇用拡大（>東部地域開発プログラム）、②持続的開発のための防災・環境保全、③包摂的な開発の促進
- 中米統合機構（SICA）本部所在：重点分野→物流・ロジスティックス、生物多様性・湿地保全 他

こんな技術を求めています！

- ◆【防災】：自然災害（地震・豪雨・火山）の多発地域→地すべり・斜面对策、モニタリング機器・警報システム、護岸、洪水被害軽減 他
- ◆【環境】：生物の多様性・重要な生態系保存→水質汚染（排水処理）対策、廃棄物処理（都市廃棄物）対策 他

所長より皆様へ一言

エルサルバドル共和国は中米の真ん中に位置し、SICA本部所在地として物流の要所としての役割など、域内に裨益する事業展開が期待されています。

新大統領の強力なリーダーシップのもと治安対策等が進められており、防災・環境など、日本が持つ技術・知識による協力が求められています。



ホンジュラス事務所 中根 卓 所長



任国の概要・開発課題

面積：112,500 km²

日本の3分の1、中米では2番目の大きさ

人口：930万人、平均年齢23歳、出生率2.462

言語：スペイン語、先住民言語

特徴：

①主要産品は、コーヒー、バナナ、メロン、パーム油、養殖エビ、鶏肉等

②近年、観光業にも力を入れている。主な観光地は、コパン（遺跡）、ロアタン島（カリブ海）

③ハリケーン（1998年ミッチ）、地滑り等の災害対応や、地球温暖化による干ばつ被害対策が重要課題

重点分野：①地方開発②防災対策

ポテンシャル：広い国土、豊富な労働人口、太平洋・カリブ海に面した主要な港等を活用した更なる農産品輸出拡大。長い友好関係、協力関係からホンジュラス国内の日本に対する信頼や期待は高い。

こんな技術を求めています！

強みとして伸ばしたい農業・水産業、観光関連の技術

課題として克服したい、教育、保健、廃棄物処理、防災、インフラ関連の技術

所長より皆様へ一言

これまでの長い協力の歴史から、JICA事務所はホンジュラスの中央・地方政府だけでなく、ホンジュラスコーヒー協会他各種団体ともコンタクト可能です。JICA事務所のネットワークや経験を是非、ご活用ください。



メキシコ事務所 松本 仁 所長



任国の概要・開発課題

タコス、テキーラ、マリアッチ！……だけではないメキシコは、日本の5倍の国土に1億3千万人！（大きな市場！）1200社を超える日本企業が進出しています。

JICA、JETRO、JBICの各事務所、日系の銀行、保険、物流等各分野の会社があるほか、主に進出日本企業により構成されるメキシコ日本商工会議所も組織されており、ビジネス環境は整備されています。

2万人とも言われる日系社会の存在も大きな味方です。日系人を通じた様々な分野でのビジネス開拓のチャンスも大いにあり！ 高齢者をターゲットとしたビジネスや、日本の医療の高度技術・優れたサービス・最先端機器なども求められています。

●公用語：スペイン語（英語はあまり通じないと思った方が良いでしょう）

●JICAの重点分野：中小企業・裾野産業支援、地球規模課題（気候変動・災害対策）など。医療の質向上や高齢化対策も注目課題！

こんな技術も求めています！

- 防災・災害対策：非破壊検査、構造物診断
- 保健医療：介護、高齢化対策
- 環境・エネルギー：LED関連（太陽電池式街路道路灯、天井用電灯、蛍光灯型電灯）、水力発電、廃棄物利用発電
- 水処理：海水淡水化、汚泥処理・利用
- その他：高度交通信号制御システム、交通渋滞緩和

所長より皆様へ一言

メキシコでは、これまでに19件のJICA民間連携案件が採択されています。メキシコ進出を足掛かりに、中南米の他国への事業展開も可能です。まずはJICAメキシコ事務所にお気軽にご相談ください！



パナマ事務所 石丸 卓 所長



任国の概要・開発課題

<基礎データ>

国土：約7.5万km²（北海道とほぼ同じ）
人口：約420万人（2018年・世銀）
首都：パナマシティ
言語：スペイン語
元首：ラウレンティノ・コルティソ大統領
通貨：バルボア（米ドル）
名目GDP：651億ドル（2018年・世銀）
一人あたりGNI：14,370ドル（2018年・世銀）

<特色>

- ①南北米大陸の結節点にある東西に細長い地峡国。
- ②経済は第三次産業に大きく依存（GDPの約8割）。
- ③消費財、生産財の大半を輸入に依存。
- ④運河・ロジスティクスを核に潜在成長率は5%以上。
- ⑤地域格差、所得格差の是正が課題。

<ポテンシャル>地の利・インフラを活かした進化するハブ国家、生物多様性・景勝地・歴史遺産を活かした観光開発、農牧水産業の可能性など。

こんな技術を求めています！

日本の技術・ノウハウは何でも役に立ちます！民間企業、研究機関、地方自治体などによるパナマとの連携・協働のお手伝いをします。

（例）水資源管理、廃棄物・水処理、環境・生物多様性保全、防災、教育（理数系）、農牧水産技術、観光開発、地域おこし、市民啓発活動など

所長より皆様へ一言

パナマは運河やフリーゾーンで皆さんにも馴染みですが、それ以外のビジネスの対象国としては存在感がないようです。ハブ国家として進化を続ける一方で、一次、二次産業の振興による地方創生や教育医療保健改革による格差是正に取り組むパナマには日本の技術・ノウハウが必要です。何なりとご相談ください。



セントルシア事務所 小林 勤 所長



任国の概要・開発課題

JICAセントルシア事務所は以下の10か国を兼轄
アンティグア・バーブーダ、グレナダ、ガイアナ、ドミニカ、セントルシア、セントビンセント、セントクリストファー・ネイビス、バルバドス、トリニダード・トバゴ、スリナム

人口：約360万人（10か国合計）

公用語：英語、先住民言語等

特徴：①日本との共通性：ハリケーンなどの自然災害の頻発地域、海洋生物資源の持続的利用の推進、②観光大国、③良好な治安、温暖な気候

重点方針と分野：小島嶼開発途上国の特別な脆弱性への配慮（卒業国支援含む）

①防災・環境（省エネ・再エネ、気候変動対策、廃棄物管理等含）、②水産、③社会的弱者支援等

ポテンシャル：豊富な海洋資源と観光資源、油田開発に伴う各種ビジネスチャンス（ガイアナ）

こんな技術を求めています！

- 漂着海藻の有効活用技術
- 廃棄物処理関連（海洋プラスチック、小型のリサイクル機器等）
- 防災関連技術（早期警報システム等）
- VRやIoTなど最新技術を活用した公共サービスの改善のアイディア
- 観光産業

所長より皆様へ一言

日本企業にとって“未開の地”であるカリブ地域は、誰もがFrontierに。

人口規模が小さいからこそ、一つの事業のインパクトや波及効果は“大”であり、**海外事業展開に向けた技術の見せ場として格好の地域といえます。**

当事務所管轄のカリブ地域10か国への事業展開をお考えでしたら、情報提供させていただきます。



グアテマラ事務所 山口 尚孝 所長



任国の概要・開発課題

面積：108,889km²

人口：1,618万人（中米で最大の人口）

公用語：スペイン語、先住民言語

特徴：①農業国、②Doing Business(2018) 98位、③様々な気候に恵まれ、土壌豊か。

重点分野：①貧困層の生活改善、②地域活性化、③環境・防災

ポテンシャル：様々な小気候帯・生態系に分かれていて、農業開発の可能性に富むことから、イノベーションを生かして、より付加価値を高められる可能性を秘めています。

こんな技術を求めています！

グアテマラの農産物（主にカルダモン、コーヒーや野菜等）の輸出総額は5219百万ドル（2017年）であり、毎年増加しています。生産性と品質向上技術（種子増産、品種改良、土壌改良、加工梱包、ドローンを用いた収穫予測等）が今後ますます必要とされていきます。ぜひ参入をご検討ください。

所長より皆様へ一言

グアテマラ国では現在、本邦技術活用におけるフードバリューチェーン強化の情報収集・確認調査が実施されています。イノベーションを活用した農業・環境分野の協力も可能性があります。グアテマラ国への事業展開をお考えでしたら、情報提供させていただきます。



ニカラグア事務所

ない ひろみ
名井 弘美 所長



任国の概要・開発課題

面積：130,400 km²（≒千葉県の26倍）
人口：620万人（≒千葉県）公用語：スペイン語

特徴：

- ①独裁左派政権、台湾と外交関係（中国の進出低）
- ②2009年～2017年まで平均5.1%の成長率
- ③主要輸出品は農産物（牛肉、コーヒー、魚・甲殻類等）及びフリーゾーンでの縫製業等製造業

強み：

- ①真面目な国民性と豊富な若者労働力
- ②良好な治安 ③安定した為替 ④安価な賃金

重点セクター：都市開発、農業、保健、水、教育、インフラ整備、防災、環境

ポテンシャル：域内ではハイチに次ぐ貧困国。開発ニーズが高く、日本（の技術）への信頼は厚い！

こんな技術を求めています！

- ✓ 廃棄物処理（リサイクル含む）
- ✓ 湖沼水質改善、下水処理
- ✓ 上水浄化・管理（顧客メーター・漏水探知機・不断水工法・データ測定・管理等）
- ✓ 健康診断・予防（特に成人病）
- ✓ 遠隔教育や複式学級、農業用IT技術
- ✓ パームオイル産業関連技術（排水処理、廃材活用等）
- ✓ 省エネ技術

所長より皆様へ一言

野球が人気で、ボクシングが強いニカラグア、プロボクサーのロマン・ゴンサレスが有名です。

国としてはまだまだ発展途上、多様な開発ニーズがあり、パートナーとして遣り甲斐があります。ニカラグアのことは何でもお尋ねください。WIN-WINの事業を是非ご一緒に！



キューバ事務所 三田村 達宏 所長



任国の概要・開発課題

面積：10.9万km²（日本の約1/3）

人口：1120万人（首都ハバナは213万人）

公用語：スペイン語

特徴：①キューバ革命から60年、②米国の経済制裁を受けながらも社会主義体制堅持、③医療・教育の完全無償化、高い教育水準、キューバ人医者 of 海外派遣、④高い外交能力、全方位外交、⑤カストロ兄弟の次の世代による改革（4G入ってます、個人経営のレストラン多数）、⑥観光客470万人、⑦ラム酒と葉巻だけでない多角化模索中

重点分野：①農業開発、②持続可能な社会・経済開発（運輸交通及びエネルギーの2分野でマスタープラン作成中）

ポテンシャル：膨大な開発ニーズ（特に70年代のインフラ老朽化）、未開拓の市場、安定した政治情勢、良好な治安、高い知名度・ノスタルジー（チェ・ゲバラ、ヘミングウェイ、50年代のアメ車）

こんな技術を求めています！

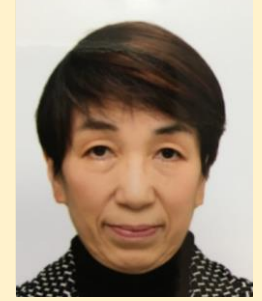
島嶼国固有の課題（廃棄物処理、リサイクル、水処理など）
再生可能エネルギー
省エネルギー技術
都市交通（電化、排ガス対策など）
観光開発（エコツーリズム）

所長より皆様へ一言

求む、日本の中小企業進出案件、第一号。国営企業独占の未開拓の市場ですので、新規参入者には大きな可能性、先手必勝（社会主義ならではのリスクもあり）。米国の経済制裁が強化され、大企業が二の足を踏む中、中小企業にこそチャンスがあります。



ベリーズ支所 橋口 道代 支所長



任国の概要・開発課題

面積：22,970km²（四国より少し大きい）
人口：約40万人（ベリーズ統計局推定）
公用語：英語（公用語以外にスペイン語、クレオール語、モパン語など）
特徴：①1981年独立（独立前は英領ホンデュラス、アメリカ大陸で最も新しい国）②多民族・多文化（メスティソ、クレオール、マヤ先住民、ガリフナ、インド系、中国系など）③豊かな自然、観光資源
⑤中米、カリブの両方の顔

重点分野：①防災・環境、
②格差是正

ポテンシャル：
豊富な農作物、
豊かな観光資源



こんな技術を求めています！

農林水産業（農産品、食品加工等）
環境関連（漂着海藻の活用等）
廃棄物関連
防災関連
観光関連
その他の分野でもご関心あれば、お問い合わせください。

所長より皆様へ一言

ベリーズはユカタン半島の付け根に位置する小さな国です。「カリブ海の宝石」と呼ばれており、観光客も多いですが、同時に様々な開発課題もあります。日本では、ベリーズの知名度は必ずしも高くありませんが、是非この機会にご注目いただければと思います。



コスタリカ支所 前田 英男 支所長



任国の概要・開発課題

面積：51,100km²（北海道の約3/5）
人口：約500万人（中米で3番目の人口密度）
公用語：スペイン語、先住民言語

特徴：①GDP11,500ドル、安定した経済、②軍隊を保有しない平和国家、③生物多様性、環境保全を重視、④中米地域比較では教育水準が高く、幸福度指数も域内で常時上位、⑤年間を通じた常春の首都圏、⑥安定した電力源、上水道供給、

重点分野：①持続可能な環境保全、②格差是正、③未来の人材作り、その他

ポテンシャル：紛争や社会問題が少なく、教育水準の高さと安定した経済といった特徴を生かした多様なビジネスチャンス イメージ先行型の環境に優しい自然豊富な国の実態改善を日本の経験で！

こんな技術を求めています！

廃棄物処理、3R、環境に優しい社会、エコシステム

所長より皆様へ一言

テレビ番組でも数多く取り上げられるコスタリカ共和国。小さいながらも森林保全、生物多様性、教育水準の高さといったポジティブなイメージが先行する国です。が、途上国からの卒業にはまだ届かないのも現状。日本や企業のみなさまのご経験で中米初の卒業国を後押ししていませんか？



ジャマイカ支所 高野 剛 支所長



任国の概要・開発課題

- 人口**：293万人（カリブ海の英語圏国として最大。
2018年 世銀）
- 面積**：1.1万km²（秋田県とほぼ同じ。2018年 世銀）
- 公用語**：英語
- 1人当たりGNI**：4,990ドル。（2018年 世銀）
- 特徴**：①カリブ海諸国で初めて日本と租税条約
実質合意済み、②政治的安定性、③主要
輸出品目はアルミナ、ボーキサイト、砂糖、
ラム酒、コーヒー等
- 日本の協力重点分野**：①防災と環境（気候変
動への適応・緩和対策、省エネルギー及び
再生可能エネルギー転換、廃棄物管理、上
下水道等）、②格差是正
- ポテンシャル**：①パナマ運河拡張後のロジス
ティクス・ハブ化を通じたさらなる国家開
発を目指している、②米州英語圏では米
国・加に次ぐ人口がある（BPO活用も進む）

こんな技術を求めています！

- ❖ 省エネルギー技術・再生可能エネ
ルギー技術
- ❖ 上水供給・下水処理技術
- ❖ 防災関連技術

所長より皆様へ一言

ジャマイカでは対日重要輸出産品と
なりましたブルーマウンテン・コー
ヒー振興を含む有償資金協力を通じ
たODA連携の実績があります。
また、既にジャマイカに大型投資を
されている日本企業がおられます。
ぜひご相談ください。



ハイチ支所 山本 るみ子 支所長



任国の概要・開発課題

任国の地図、基本的情報、開発課題など

面積：27,750km²（北海道の約3分の1程度）

人口：1,098万人

公用語：フランス語、ハイチ・クレオール語

特徴：①豊かな自然、②未開発の観光資源

重点分野：①教育、②保健・医療、③農業開発、④

防災

ポテンシャル：豊かな資源と未開発の観光資源開発を生かした観光業や農産物輸出入関連開発が求められています。

こんな技術を求めています！

防災技術、廃棄物処理、観光資源開発

所長より皆様へ一言

民間連携スキーム事業は未だ実施されることがないハイチ国であるがゆえに様々な可能性があります。ハイチ国への事業展開をお考えでしたら、情報提供させていただきます。



アルゼンチン事務所 西木 広志 所長



任国の概要・開発課題

面積：278km²（日本の約7.5倍）
人口：4,427万人（2017）
公用語：スペイン語
宗教：カトリック（現ローマ・カトリック教会のフランシスコ法王はアルゼンチン人。米大陸から史上初）
一人当たりGDP：14,402ドル（2017）
特徴：①日本との外交関係120年（2018）、日系社会、②主要産業は農牧業（牛肉等）、③肥沃なパンパを含む広大・豊かな自然環境と文化、④比較的良好な治安、④ Doing Business(2019) 119位、インフレ57%・為替-48%(2018/6~1年間)。
⑤基本方針：持続可能な経済社会開発の促進
重点分野：①環境保全、②地域経済活性化
ポテンシャル：非常に親日的、高い教育水準、豊富な農作物、域内貿易の拠点になり得る。
長年の協力による技術の蓄積、PPJA（パートナーシップ協力）。

こんな技術を求めています！

経営管理、地域開発（OVOP、観光）、地球規模課題への取組、研究協力、障害者支援など。

所長より皆様へ一言

- ・アルゼンチン国では、これまで2件（花き・省エネ分野）の民間連携スキーム事業が採択されています。
- ・当国への事業展開をお考えでしたら、是非お知らせ下さい。情報提供・意見交換出来れば幸いです。



ボリビア事務所

おはら まなぶ

小原 学 所長



任国の概要・開発課題

国名：ボリビア多民族国
面積：1,098,581km²（日本の約3倍）
人口：1,114.6万人（2017年）
民族：先住民41%、非先住民59%
言語：スペイン語（他36の先住民言語が公用語）
特徴：①地勢や民族の多様性（4,000m以上の高地からアマゾン地域に、先住民を含む多様な民族が暮らす）
②豊富な資源（鉱物、天然ガス、リチウム）
③日系人（約13,000人）の活躍

重点分野：①社会的包摂の促進（保健医療）
②経済基盤の整備及び生産分野の多様化（エネルギー、防災・インフラ・水資源農業）

ポテンシャル：①豊富な天然資源を活用し中南米でトップクラスの経済成長、②インフラ投資の増加、③成長をけん引する農業分野

こんな技術を求めています！

再生可能エネルギー・省エネルギー分野
（地熱、太陽光発電、省エネ技術等）
環境・廃棄物処技術
農業生産・加工（日系移住地との連携：
米、養鶏、フルーツ加工等）
医療技術・機材（消化器疾患については
JICAの協力ベースあり。ボ政府は今後54の新
病院建設、14病院の機材更新計画あり）

所長より皆様へ一言

ボリビア事務所では、現地の商工会議所や輸出入組合、政府や民間企業とのネットワークを有しています。事業展開をお考えでしたら、情報提供させていただきますので、ご連絡ください。

また、ボリビア国には来年2月に中南米日系社会との連携調査団が派遣されます。ご関心ある企業様は応募をご検討願います（9月27日締め切り）。



ブラジル事務所 佐藤 洋史 所長



任国の概要・開発課題

面積：851,2万km²（日本の22.5倍）

人口：2億930万人（世銀、2017年）

公用語：ポルトガル語

特徴：

- ①世界第5位の人口、国土、第9位かつ南米最大の経済規模（ASEANの約7割）、豊富な天然資源
- ②日系人総数約200万人、中南米最大の日系社会を抱える親日国、多くの本邦企業が進出

③政権交代、年金改革、税制改革、国営企業民営化

重点分野：①都市問題と環境・防災対策、

②投資環境改善、③三角協力支援、④日系社会連携

ポテンシャル：

- ①豊富な天然資源、農作物、消費市場、域内貿易の拠点という強みを生かした多様なビジネスチャンス
- ②世界GDPランキング予測（2030年6位、2050年5位）に見る高い経済的ポテンシャル
- ③中南米地域におけるスタートアップの75%が集積、スタートアップ・エコシステム拡大ポテンシャル

こんな技術を求めています！

国土が広大で市場規模も大きい中進国。様々な分野の技術にニーズ・ポテンシャルがあります。

（例）スマート農業、医療、高齢者介護、インフラ維持管理、IT、防災、環境、水処理、防犯等

所長より皆様へ一言

ブラジルは大きなビジネスチャンスを有する大国です。現在10件(累計28件)の民間連携案件、昨年、再開後第一号に契約した海外投融資案件（農業）を実施し、民間連携事業に力を入れています。サンパウロとブラジリアから、政府機関、民間企業、日系社会とのネットワークを活かし様々な支援をさせていただきます。



チリ支所

はんや りょうそう
半谷 良三 支所長



任国の概要・開発課題

面積：75.7万km²（日本の約2倍、南北に4千キロを超える細長い国土）

人口：1,757.4万人（首都サンティアゴに711万人が集中）

公用語：スペイン語

特徴：①銅、サーモン、ワインなどの輸出国②国際競争力指数33位(2018)でラ米トップ③良好な治安、勤勉な国民性

重点分野：①防災対策②高齢者対策を含む社会包摂性の推進③環境・気候変動対策

ポテンシャル：マクロ経済、国家財政が安定した国で銅、リチウムなど鉱物資源に加えて農産物、食品加工、木材加工など輸出が経済を牽引。今年はAPEC議長国、かつCOP25開催国であり日本との重要な戦略的パートナーとしての位置付けにある。

こんな技術を求めています！

- ①首都と地方格差を埋める様々な技術（集落排水、廃棄物処理など環境対策）
- ②高齢化社会に対応した医療介護、リハビリ分野、都市造り、交通システム
- ③農水分野での加工技術など付加価値を高めるノウハウ技術
- ④地震津波と日本と共通の災害大国であるチリは日本の防災技術を欲しています。

所長より皆様へ一言

チリは治安の良さ、政治経済の安定性から日本企業105社が進出しています。チリ国内での日本製品、ノウハウ、技術は様々な分野でニーズはあります。是非、チリを拠点にラ米市場への進出をご検討ください！



コロンビア支所 上條 直樹 支所長



任国の概要・開発課題

面積：1,139,000km²（日本の3倍）
人口：4,907万人（中南米で3番目の人口）
公用語：スペイン語
特徴：①農業（コーヒー、切り花等）と鉱業（石油、石炭、エメラルド等）が主要輸出品目、②Doing Business(2019) 65位、③反政府勢力との歴史的和平合意を締結、治安が回復している。太平洋と大西洋に面し、地理的・気象的な多様性に富み、地勢的メリットを有する。
重点分野：①（地方と都市の）均衡のとれた持続的経済成長、②環境問題及び災害への取組
ポテンシャル：大きな市場、国土の多様性、進取の気性に富む国民性、高い文化水準など。

こんな技術を求めています！

開発の遅れた農村地域又は都市部貧困地区における保健衛生（感染症予防、母子保健、簡易な飲料水確保、下水処理設備）、小規模社会インフラの整備、防災・環境保全並びに代替エネルギー活用に有用な技術や製品。現地の人々が扱い易く、ローコストで維持管理可能なものが求められています。

所長より皆様へ一言

進取の気性に富む国民性を持つ当国では、和平交渉の大幅な進展と並行する形でビジネス活動が次第に活性化しています。また、わが国を含むアジア・太平洋地域との貿易関係の拡大にも積極的です。コロンビアの開発に有効と思われる技術や製品をお持ちの際は是非お声をおかけください。



エクアドル事務所 石川 剛生 所長



任国の概要・開発課題

- 面積：25.6万km²（日本の0.7倍）
人口：1,700万人（人口成長率：1.37%）
公用語：スペイン語、先住民言語
特徴：①輸出額の4割が石油関連、養殖エビ、バナナ、カカオ、冷凍野菜などが続く ②ドル化経済
③ウルグアイに次ぐ良好な治安。
重点分野：①格差是正を伴う経済発展、②環境保全・防災
ポテンシャル：
① ドル化経済による少ない為替リスク
② 安価で充実したインフラ（電力、道路、港湾等）
③ 豊富な地下資源（石油・鉱物・地熱）
④ 中間層の着実な形成と層の厚い生産年齢人口
⑤ 多様な農産物栽培に適した多様な気候
⑥ PPPによる海外からの直接投資を促進
⑦ 大都市整備（公共交通、廃棄物等）の需要

こんな技術を求めています！

- ・ 災害に強いインフラ技術（耐震・免振／治水／斜面崩壊防止）
- ・ かつら／介護ケア用品／リハビリ関連
- ・ 省エネ型コールドチェーン技術・ノウハウ

所長より皆様へ一言

エクアドル国ではこれまで2件の民間連携スキーム事業が採択されています。中南米の縮図、多様性と包摂の国、エクアドルをよろしく願います。



パラグアイ事務所 米崎 紀夫 所長



任国の概要・開発課題

面積：406,752km²（日本とほぼ同じ面積）

人口：680万人

公用語：スペイン語・グアラニ語（先住民言語）

特徴：①大豆と牛肉を中心とした農牧製品の輸出に依存経済、②内陸国であり貿易の8割強は河川輸送、③南米大陸の中心部に位置しブラジル、アルゼンチン、ボリビアと国境を接する、④メルコスール（南米共同市場）加盟国、約3億人の市場へのアクセスが容易、⑤総人口の7割強が34歳以下、若く訓練可能な労働力、⑥地域最大の電力輸出国、電力コスト安い、⑦約1万人の日系人が存在

重点分野：①持続可能な農牧業開発、②経済インフラ整備、③産業人材育成、④水衛生、⑤障害者支援、⑥基礎保健と栄養改善

ポテンシャル：

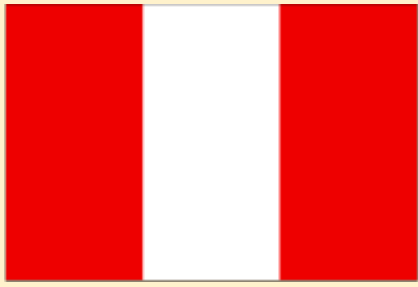
①南米の主要市場へのアクセス、②マクロ経済の安定、③各種インセンティブと有利な税制度、④外国投資の保護と良好なビジネス環境

こんな技術を求めています！

- ①水路運送を円滑にするための河川管理に関する技術
- ②天水農業中心のため灌漑・排水にかかる技術
- ③農牧製品の加工技術（付加価値）
- ④医療分野全般
- ⑤障害者支援全般、
- ⑥廃棄物リサイクル技術など

所長より皆様へ一言

パラグアイを一か国として見るのではなく、南米共同市場メルコスールにおける営業展開の拠点として捉えていただき、優秀なバイリンガル日系人人材の高度活用を通じた事業の可能性を模索いただければ、雇用創出、技術革新を通じたパラグアイ経済社会開発にも寄与するものと考えます。



ペルー事務所 中川 岳春 所長



任国の概要・開発課題

面積：128.5km²（日本の3.4倍）
人口：3,182万人（リマ首都圏1,100万人）
1人あたりGNI：6,198ドル
GDP：225億ドル（IMF2019）
（参考：ベトナム241億ドル、NZ203億ドル）

公用語：スペイン語、先住民言語

特徴：①10万人の日系社会/日系人企業の存在、②日本との経済連携協定（12年3月発効）、③太平洋へのアクセス、南米各国へのアクセス、④安定した経済成長（13-17年平均3.6%、18年4.0%）

重点分野：

①経済社会インフラの整備と格差是正、②環境対策、③防災対策

ポテンシャル：日本との経済連携協定。TPP11。
10万人の日系人社会/ビジネスパートナーとして信頼出来る多くの日系人企業の存在。

豊富な農林水産資源、鉱物資源国、太平洋へのアクセス、1千万人以上の人口を有するリマ首都圏市場の多様なビジネスチャンス

こんな技術を求めています！

都市交通分野（ITS・立体駐車場等）
廃棄物処理・リサイクル
水分野（上下水、海水淡水化）
農林水産分野（農産品・食品加工技術等）
鉱工業分野（地熱資源探査、環境対策）
医療・福祉分野（高齢者福祉） など

その他の分野でも、ペルーでの事業展開にご関心のある方、遠慮なくご相談・ご連絡ください。

所長より皆様へ一言

皆様の技術・ノウハウがペルー国の更なる発展には必要不可欠です。ペルーでの事業展開にご関心をもって頂くことを期待しています。

また、私自身、民間企業の海外展開支援事業を4年間担当していた経験があります。様々な事例や教訓を承知していますので、自身の経験も活かし、全力で皆様に助言・サポートさせていただきます！



ウルグアイ支所

こばやし かずみ
小林 一三 支所長



任国の概要・開発課題

面積：176000km²（日本の約半分）
人口：349万人（内138万人が首都に集中）
公用語：スペイン語
民族：欧州系が90%以上
宗教：主にカトリック
主要産業：農業・畜産・林業とその加工品

特徴：①中南米で政治経済的に最も安定した国の一つ ②実質GDPは2003年から2018年まで16年連続プラス成長 ③2018年1月にODAの被援助国リストから卒業 ④2017年4月に日本との投資協定発効 ⑤メルコスールの物流拠点として国内に港湾、フリーゾーン等を整備し外資を誘致 ⑥外交や観光促進においてUruguay Naturalのイメージを強調 ⑦2019年から日本と牛肉の市場を相互開放 ⑧人口100人当たり携帯電話、固定インターネット契約者数は中南米でトップ（2017年 ITU）

重点分野：持続可能な開発への支援を基本方針として「格差是正」と「環境保全」等が重点分野

ポテンシャル：自然農法により3000万人分の食料生産力を有し、電力の95%を再生可能エネルギーで賄うウルグアイは、持続的開発を目指す国にとっての模範国。良好な治安、優秀で勤勉な国民、外資への優遇策、地域の物流拠点、さらに親日国である等の利点を活かしたビジネスチャンスあり。

こんな技術を求めています！

- (1) 太陽光、バイオマス、水素等再生可能エネルギーに関する先端技術
- (2) 農牧林業等アグリビジネスに関連した技術
- (3) 携帯電話やインターネット等の高い普及率を利用したIT 関連技術
- (4) 廃棄物管理、交通渋滞対策等、首都モンテビデオの都市問題の解決に資する技術

所長より皆様へ一言

「世界一貧しい大統領」として有名になったホセ・ムヒカ前大統領を生んだ南米の小国ウルグアイは、持続的開発において世界の模範国になることを目指しています。特に、環境に優しい技術を売りにする企業にとっては多くのビジネスチャンスが存在すると思われ、JICAの民間連携スキームを活用したチャレンジをお勧めします！



ベネズエラ支所

しゅくのべ まさみ

宿野部 雅美 支所長



任国の概要・開発課題

面積：91万2千km²（日本の2.4倍）
人口：3,102万人（2018年, IMF）
公用語：スペイン語、先住民言語
1人あたりGDP：6,683ドル（IMF推定値2017）
GDP：3,807億ドル（IMF推定値2017）
公用語：スペイン語、先住民言語
特徴：①世界有数の石油産出国で埋蔵量は世界1位（3,009億バレル）だが、空前のハイパーインフレ（137万%、IMF推定2018）に苦しみ、国外に400万人が流出②99年以降、独自の社会主義路線展開、現政権（マドゥーロ大統領）は独裁化を強め、米国等と対立、③反米、左派的な中南米7か国で結成しているボリバル同盟の中心国。ロシア、中国とは軍事、石油取引等で関係を強めている

重点分野：

①人道危機支援、②環境保全、③防災対策

ポテンシャル：豊富な石油・鉱物資源。アンデス開発公社（CAF）はカラカスに本部を置き、域内のインフラ整備に融資・出資を行っている

こんな技術を求めています！

- ・石油関連技術
- ・鉱物資源開発(鉄鉱石、ポーキサイト、金、ダイヤモンド等)
- ・環境保全対策（オリノコ川流域保全）

所長より皆様へ一言

ベネズエラは現在、政治・経済面で混乱しておりますが、世界有数の資源大国であり、現在も石油産業を中心に日系企業が事業を行っています。人材面でも非常にポテンシャルのある国なので、状況が改善されれば、期待できる国かと思われ
ます。